

おめでとう・はじめまして・ただいま

校長 伴 光明

新入生のみなさん、おめでとうございます。あきる野学園へようこそ！
進級したみなさん、また楽しく、新しい学びに向かっていきましょう！

私はこの4月に着任した伴 光明
(ばん みつあき)です。武蔵引田駅のホームに降り立つと、畑や丘陵の春の粧がかつてと変わらずに出迎えてくれ、見覚えのある風景に軽い眩暈を覚えました。私にとってあきる野学園は2度目の着任になります。平成9年に開校した時、私はB小学部の1年生の担任として初めてこの地にやってきました。教職員は皆4月に初めて会う人ばかり、話し合いを重ねてお互いの人となりを理解し合いながらのスタートでした。



実は小1を担当するのは初めてだったので、気合を入れてお迎えの装飾をしよう！と真新しい教材庫に行きましたが、色画用紙も折り紙もまだ届いていません。わずかに使えたのは白い画用紙の山。うーむとしばし考え込み、そうだ！と閃きました。

画用紙の梱包紙は水色でした。裏は無地。これをたくさん広げれば、広い大空が描けます。白画用紙で雲をたなびかせれば、広いあきる野の空を見立てた装飾となりました！

ないところから作る、あるものを最大に使うということはこんなにも気持ち良いのだ、と晴れやかな気分で新1年生をお迎えすることができました。

近隣の幼稚園や昭島市の学校とのお付き合いを始めたり、日の出町のつるつる温泉に校外学習で出かけたり、広大な畑を抜けて尾崎観音まで歩行に行ったり。

30年以上に及ぶ職業生活のどの職場も忘れ難いものがありますが、とりわけ、あきる野学園での学校作りに参画できたことは、その後の仕事に大きな財産となっています。

懐かしい風景が変わらず広がる一方で、自然との調和を図りながら発展する西多摩地区には新たな産業や住宅の開発も進んでいることも分かりました。社会の変化や時代の変化に応じて変わり続けることが学校の使命だと私は思います。今のあきる野学園に集う皆さんにとってふさわしい活動を提供し、学ぶ内容を明確にしていくことがきっとできると考えています。教育課程をいっそう身近なものにし、学校と保護者の皆さんとで子どもたちのより良い学び、未来を明るく語り合うことを楽しみにしています。ご一緒に明日を拓(ひら)いていきましょう。